

こどものインフルエンザ・ワクチン無料化署名 市議会議長に署名 5,134 筆を提出

1月12日（火）高松市議会の井上孝志議長に署名を提出しました。前田保健予防課長が同席しました。医療生協から小池専務、玉越牟礼支部長、石井理事などが参加しました。

2020年度は、インフルワクチンに補正予算が付き、中学生までと65歳以上の高齢者が無料となり、安心と安全を得ることができました。2021年度も継続して予算化を要望しました。



井上議長は、「要望の主旨はよくわかりました」「2021年度予算化については県内

市長・議長会として香川県・国に対して要望しているところです」と述べました。

これからも皆さんの声を医療生協の支部として県や市に届けますのでご協力をお願いします。

1. 22核兵器禁止条約発効 元山橋で宣伝行動

春日川の元山橋で医療生協組合員と協同病院職員と共同で、プラスターや幟で実施しました。

核兵器禁止条約に参加している国は1月22日で52か国になりました。

日本政府は被爆者などの声に反して条約署名、批准を拒んでいます。核兵器保有国と非保有国との“橋渡し役”を担わないといけない、という理由からですが、実質はアメリカの核抑止力に依存する立場です。

私たちは日本政府に核兵器禁止条約への署名を求める活動を今後も継続的に実施していきます。



寶田裁判



3月15日（月）、高松高裁で控訴審の原告（寶田さん側）の証人調べが行われる予定です。

高裁は書類による審理が主体ですが、このように原告側の証人による審理は寶田さんの主張の論拠（パワハラ、長時間労働等）が正しい事を実証することにつながります。

今回の裁判でのハイライトになると思われます。

皆さんで見守って下さい。

